

日本都市建筑设计研究所
RESEARCH INSTITUTE OF ARCHITECTURE

1995 —— 中国作品集 —— 2000

ria

日本都市建筑设计研究所
RESEARCH INSTITUTE OF ARCHITECTURE

1995 —— 中国作品集 —— 2000

图书在版编目(CIP)数据

RIA日本都市建筑设计研究所中国作品集/曹炜编著.
上海:上海人民美术出版社,2000.8
ISBN 7-5322-2491-0

I.R… II.曹… III.建筑设计—图集
IV.TU206

中国版本图书馆CIP数据核字(2000)第42139号

RIA日本都市建筑设计研究所中国作品集

编著:曹 炜

责任编辑:戴定九 技术编辑:殷小雷

上海人民美术出版社 出版发行

上海长乐路672弄33号

全国新华书店经销 精一印刷(深圳)有限公司印刷

开本:889×1194 1/12 印张11

2000年8月第1版 2000年11月第2次印刷

ISBN 7-5322-2491-0/J·2370

定价:180元

序 言

今年正逢日本（株）R I A都市建筑设计研究所来中国上海参与中国建筑设计市场的第五个年头。作为回顾与总结，我们编辑出版了这本R I A中国作品集。热切期望在迎接21世纪美好未来的时候，R I A以其拥有的丰富经验、先进技术及超前的设计意识为中国乃至世界建筑业的发展而努力。

作为日本历史最悠久的建筑设计事务所之一，日本（株）R I A都市建筑设计研究所是在日本近代建筑大师山口文象先生于1934年创立的文象建筑事务所的基础上发展而来的。初创至今的60余年来，R I A发展为日本建筑设计界排名第八位的大型综合设计公司，拥有设计师及专业技术人员五百余人。

在建筑设计领域，R I A设计的大小数千栋建筑均得到了社会有关各界的好评，并荣获了一百多次国内外的奖项及表彰。设计内容涵盖商业办公建筑、宾馆旅游建筑、卫生保健及体育设施、文化设施、住宅、生活区设施、工业、农业、港口设施等。

R I A一贯在重视各都市固有文化特征的前提下创造具优美形态秩序的都市空间，同时具备高效率的交通系统及商业网络、文化设施、生活工作环境等功能秩序的新型都市。近50年的都市规划设计实践中，参与都市开发、区域开发、住宅区、工业区、观光旅游区、自然保护区等的规划设计的项目占全日本都市再开发总量的四分之一，从而确定了R I A在都市规划设计行业的地位。

环境设计作为R I A的一项相对独立的设计部门一直以为人类提供美好而丰富的都市生活及工作环境而不懈地探索研究和设计实践。其内容包括都市空间室内外空间、居住空间等的环境演出、广告、展示、电影、电视场景等的设计。

都市开发投资咨询部门以R I A良好的社会信誉及丰富的开发投资经验为基础，积极地参与和推进都市的改造与开发。进行项目企画、项目选址、市场调查及经济分析，并参与共同开发企画、协助招商引资及协调国际间的都市开发、营销估值、国际投资咨询的全过程，促进国际房地产行业的发展和信息交流。

今年（株）R I Aは中国にて活動を始め5年目を向かえました。この5年間を一つの区切りとして作品を回顧し、中国での活動の作品集を作成するに至りました。21世紀を迎えるに当たり、R I Aはこれまでの豊富な経験と先進技術を以って、日本や中国を始め、世界の建築業の発展に貢献していきたいと思っております。

（株）R I Aは、日本の建築設計事務所において歴史を持つ事務所の一つであり、前身は日本の近代建築の発展において大きな功績を残した山口文象氏により1934年に設立された、山口文象建築事務所であります。この60年来に、日本の大型総合建築設計事務所において8番目の規模を誇るに至りました。

建築設計の領域におきまして、これまでに大小数千棟の建築を設計し関係各方面より評価を頂き、また国内外より100余りの賞を授かって参りました。業務内容は商業オフィスビルから、ホテル、衛生保健及びスポーツ施設、文化施設、住宅、コミュニケーション施設、工業、農業、港湾施設など広範囲にまで及びます。

R I Aは各都市固有の文化特性を一貫して尊重し、美しい形態秩序の都市空間を創造することを前提に、高効率の交通システムや商業ネットワーク、文化施設生活環境などを提案して参りました。新型都市開発、住宅地、工業地、観光開発、自然保護区など日本国内におけるすべての都市計画や再開発のうち4分の1のプロジェクトに参加し、これまでに確たる地位を築いてまいりました。

環境デザインでは、人類に美しく豊かな都市生活空間を提供し、絶え間なく探索研究を続け実践してまいりました。その功績は都市空間から室内外空間、居住空間等、また環境演出や広告、展示、映画、テレビ撮影用スタジオにまで至ります。

都市再開発コンサルタント部門では、社会の信頼と豊富な開発投資経験に基づき積極的に参与し、都市改造と開発を推進して参りました。プロジェクトの企画や敷地選定、市場調査並びに経済分析、また共同企画開発にも参与し、国際的都市開発や国際投資コンサルタント、国際不動産業の発展並びに情報交換を促進してまいりました。

RIA概要

注册资金 9 5 0 0 0 万 日 元
注 册 一 级 建 筑 师 事 务 所
注 册 建 筑 开 发 顾 问 事 务 所
注 册 都 市 地 方 规 划 事 务 所
注 册 地 东 京 都 神 奈 川 大 阪 府
石 川 广 岛 福 冈 爱 知

所属协会 新 日 本 建 筑 家 协 会
学 会 日 本 建 筑 学 会
东 京 建 筑 学 会
大 阪 府 建 筑 学 会
爱 知 县 建 筑 师 会
日 本 都 市 规 划 学 会
都 市 规 划 学 会
都 市 规 划 设 计 咨 询 协 会
都 市 开 发 协 调 协 会
全 国 市 街 区 域 开 发 协 会
日 本 技 术 师 会
日 本 医 院 建 筑 协 会
日 本 医 院 设 备 协 会
日 本 剧 场 技 术 协 会
公 共 建 筑 学 会
海 外 运 输 咨 询 协 会
国 际 观 光 设 施 协 会
国 际 协 作 推 进 协 会
日 本 室 内 设 计 师 协 会
日 本 建 筑 室 内 学 会
日 本 商 环 境 设 计 家 协 会

专业部门 建 筑 设 计 研 究 部
项 目 企 划 研 究 部
都 市 规 划 设 计 部
建 筑 环 境 设 计 部
投 资 开 发 咨 询 部
建 筑 结 构 设 计 部
建 筑 设 备 设 计 部
C A D 辅 助 设 计 部

近期受赏
1991 日 本 建 设 大 臣 表 彰
1993 日 本 建 筑 学 会 霞 ヲ 关 奖
1995 日 本 天 皇 黄 绶 褒 章

RESEARCHINSTITUTE OF ARCHITECTURE
株式会社 RIA (アール・アイ・エー)
1934 山 口 文 象 建 筑 事 务 所 创 立
1953 R I A 建 筑 综 合 研 究 所
1959 株 式 会 社 建 筑 综 合 研 究 所
1975 (株) R I A 建 筑 综 合 研 究 所
1988 社 名 变 更 为 株 式 会 社 R I A
1996 (株) R I A 上 海 建 筑 事 务 所

目录
Contents

序言

[论文1]
从建筑到都市——为了都市再开发 1
[论文2]
再开发设计的手法——RIA追求的都市空间 5
日本建筑界的构图 8
山口文象时代的作品 10
近藤正一时代的作品 14
RIA上海事务所作品 18

建筑设计

虹口体育中心 24
上海水晶广场 31
上海信息枢纽中心大厦 34
万象国际广场 38
上海鸿祥广场 42
南宁国际会展中心 48
浙江省人民大会堂 52
杭州大剧院 56
杭州武林门旅游客运码头改建 62
上海工行电子计算中心扩建 68
避暑水庄 72
避暑山庄 73
上海美术馆新馆改扩建 74
上海美术馆新馆室内设计 80
贵都大酒店珠宝店 90

都市规划设计

北外滩城市形态设计 94
杭州钱塘江两岸都市景观设计 100
万科城市花园 102
同润家园 105
锦绣河山别墅区 108
古北新区19G地块规划 110
兰园超高层住宅区 112

环境设计

南京路步行街道 116
南宁市南湖广场 119
桂林市环城水系规划 121
延安路公交候车亭 123
座椅作品 124

RIA上海合作者
RIA总部中国项目负责人介绍 125

从建筑到都市 ——为了都市再开发

从建筑到都市的理想

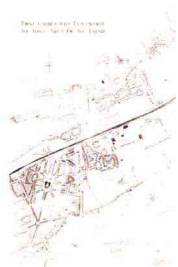
凡是有良知的建筑家在都市内设计建筑时，都会超越基地范围，对基地周围的环境有所考虑。包括建筑在都市中的位置、在都市中所起的作用、生活环境、生活方式……至今已有不少建筑家厌烦于用地的限定，超越建筑单体做了都市或一部分都市的设计提案。

近代以前的理想都市及殖民都市已是较早的事情，其中的名作包括雷蒙德等的《列切华斯田园都市》（1902年）、《阿姆斯特田园郊外住宅》（1905年）等的伦敦郊外的住宅区，以及其后受到雷蒙德影响的美国人C·史坦等的《圣山特花园》（1924-1928年）及纽约郊外的《让德番》（1928-1929年）等实验，这些近代建筑史上纪念碑式的都市一直传至今日。所谓新都市、新城建设的构想是：它不只是物质空间的构成问题，更重要的是作为地域的政治经济政策课题。这不仅对英国而且对整个欧洲、美国乃至亚洲带来影响。

当然注重造型的新都市规划也是有的，如爱德华·让

切施的《新德里总体规划》（1912-1931年）勒·柯布西耶的《昌迪加尔》（1951-1956年）及鲁西奥·考施等《巴西利亚》（1957-1960年）等都是代表作。这些都市的密度及形态、设计理念相互完全不同。但是所有的规划都有一个决定性的共同点：那就是在空地上描写的都市。这与单体建筑的基地的扩大没太大的不同，尽管尺度不一样了。这种土地利用的构成构想逐步推入细部的全体流程故然与机能空间的层叠形成一总体建筑的过程不一样，但从同样是在白纸上描绘一个设计的角度来说却是相同的：它们是没有过去的社区、没有固有的历史及文化的存在、行政的组织也在考虑之外。也就是说，在这里构想的不是作为组织的都市而是物理的建筑群。

都市美化运动下的达尼鲁·帕纳·巴纳的《三蕃市规划》（1905年）及《芝加哥规划》（1909年）、勒·柯布西耶的《巴黎改造案》（1925年）及《阿尔及尔规划》（1930-1942年）、丹下健三的《东京规划1960》（1961年）、阿鲁巴特的《柏林改造规划》等很多现代主义繁盛期百花缭乱的提案都是改造既存都市的大胆规划。但我们知道这些只是建筑家们乐天的提问而已，是针对现实的都市文明的批判，而并非源于正视都市的实际问题。这些建筑家在规划提案时，似乎也考虑了既存都市



1



2

建築から都市へ ——都市再開発をするために

「建築から都市へ」の理想

力のある、あるいは良心的な建築家なら誰でも都市内に建築を設計する場合、敷地を超えて周辺環境について思いをめぐらすものだ。その建物の地区における役割、都市における位置づけ、生活環境、ライフスタイル。そして敷地に限定されることに飽き足らなくなった幾人かの建築家は、これまでに建築単体を超えて都市を、少なくとも都市の部分を作り上げる提案をしている。

近代以前の理想都市や植民都市はしばらくおくとしても、レイモンドアンウィンらによる「レッチワース田園都市」（1902年）や「ハムステッド田園郊外住宅地」（1905年）などのロンドン郊外の住宅地そしてアンウィンの業績に深い影響を受けた米国人、C・スタインらによる「サニーサイド・ガーデンズ」（1924-28年）やニューヨーク郊外の「ラドバーン」（1928-29年）などの試みが近代都市計画史に名をとどめる記念碑的都市として後世に伝えられている。

いわゆる新都市、ニュータウン建設の構想は、物的な空間構成の問題である以上に政治経済的な地域政策

の課題として、英国にととまらず、ヨーロッパからアメリカ、さらにはアジアにまで幅広い影響を与えた。

造形により重きをおいた現実の新都市の計画としては、もちろん、エドヴァン・ラチェンスによる「ニューデリー全体計画」（1912-31年）や、ウォルター・パリー・グリフィンによる「キャンペラの都市計画」（1912年）、ル・コルビジェの「チャンディーガル」（1951-56年）やルシオ・コスタらの「ブラジリア」（1957-60年）など誰れでも知っている作品がある。

これらの都市はそれぞれ密度や形態、設計理念はお互いにまったく異なっている。しかし、全ての計画にただ一つ共通している決定的な点がある。それは、いずれも更地に描かれた都市であるということだ。

つまりここでの建築家の態度は単体建物の敷地を拡大したものとそれほど大きくは変わらない。もちろんスケールが異なるから、機能的な空間を積み重ねて一つの総体としての建築が出来上がるというよりも、全体のサーキュレーションや土地利用構成を構想して次第に細部に降りていくというように設計のプロセスは決定的に異なるだろう。

しかし真っ白なキャンバスに一つデザインを描いていくという意味では両者にそれほど違いはない。そこには既製のコミュニティは存在しないし、固有の歴史も文化も存在しない。行政的な仕組みも考慮事項の外

都市という観点から日本と中国を比べる場合、我々は過去に多くを中国から学ぶと同時に、我々の地形風土や生活環境、習慣に馴染むようなかたちで発展してきた。これ故に互いに共通する部分と異なる部分があるのは理の当然である。ここで視野を広げて、中国同様に長い歴史と文化を持つヨーロッパに目を向けるならば、根底的な思想や概念的な面での相違が浮き彫りになるかと思う。21世紀に向けた新しいまちづくりにおいて、我々の先祖が築き上げた文化や民族という垣根を越え、こうした過去の先例はもとより現在のまちづくりの手法や経験は、私たち人類の共有財産として、認識すべきではないかと思う。

今回このRIAの中国での活動を作品集として発行するに当たり、私がこれまでに日本において都市再開発事業に携わり常に感じていることを、以前発表した私の論文をこの場で再度掲載させていただき、中国における今後の都市再開発に少しでも問題解決の糸口になれば幸いです。

の基地条件，然后根据自己的信念在白纸上自由描绘。

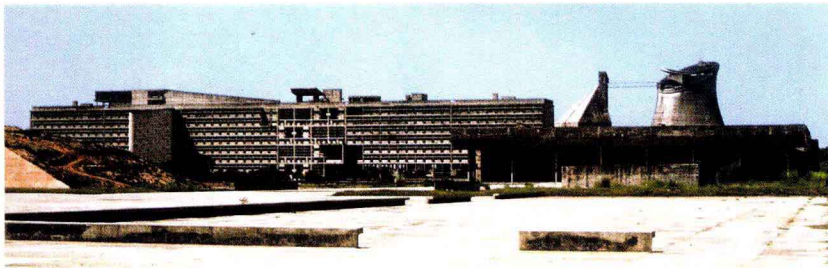
只要有良心的建筑家，在所给予的建筑设计场，都会把自己对都市的理解不断地表现在所设计的单体建筑上。但遗憾的是，我们无法期待这样个人主义式的努力的积蓄对都市构造变化所起的作用。

在都市的现实面前

如果说建筑家在既存都市的面前无能为力，事实也并非如此。建筑家通过建筑设计行为，对未来的都市方向进行预测的空间创造是可能的，并且要找出这种可能性较高的地区并不难。具体的做法是保存都市内重要的建筑或加以改造利用，同时改善都市中不适合的部分。今天，这一行为被称为都市设计，也就是广义上的都市再开发。实际上欧美的再开发就是这个意味。

也就是说，建筑家要有都市设计或再开发的眼光，能从夹缝中找出关联的对象与现实的都市初次见面。但事情并非这样简单，观察建筑单体与都市总体的视觉的尺度是不同的。

土地最终的形态特性与项目的成功与否有关，建筑家必须积极地参与，在规划案形成的过程中，在未来建筑形态的整理中起到重要作用。在具体项目中，先行进



3

側にある。つまりここで構想されているのは、組織としての都市ではなく物理的な建築群なのである。

もちろん、我々はこの他にも、シティ・ビューティフル運動下のダニエル・ハドソン・パーナムによる「サンフランシスコ計画」（1905年）や「シカゴ計画」（1909年）に始まり、ル・コルビジェによる「パリ改造案／プラン・ヴォアサン」（1925年）や「アルジェ計画」（1930－42年）、丹下健三の「東京計画1960」（1961年）アルパート・シュペーアによるベルリン改造計画（1938－42年）などモダニズムの勃興期から全盛期にかけて百花繚乱のごとく提案された、既存の都市を改変しようという大胆な計画案の数々を知っている。しかし、彼らが建築家たちによる楽天的な問題提起に過ぎず、実際の都市のあり方を逆照射する文明批判とはなり得ても、都市の現実を正面から見据えているとは言えないことも、我々はよく知っている。つまりここでも建築家は、計画提言にあたって、既存の都市をあたかも敷地の地形的な条件でもあるかのような与件としてとらえ、白地図の上にみずからの信念を自由に描いていったのである。だからこそ、良心的な建築家は、与えられた建築設計の場において、自らの都市に対する姿勢を単体建物のうちに表現しようとする努力を重ねることになるのだが、しかし残念なことこうした個人主義的な努力の蓄積によって都市が構造的に変化することは

行各種行政手续时如没有所必须的明确的空间感觉，后期项目的实施将会受到制约。所以，建筑家在较早的阶段参与对项目实施的顺利进行是不可缺少的。

都市再开发中

日本の都市再开发是指整个解体型的再开发。日本の都市再开发主要以都市不燃化、土地の高度化利用、推进居住环境的整理配备及公共设施的整理配备等四个目的进行。具体是指以干线道路、站前广场及站前地区的整理为目的的再开发，以商业街的现代化为目的的再开发，以住宅的提供、居住环境的整理为目的的再开发，以公共团体的公益设施的配备为目的的再开发及这些再开发的复合型等的事业化推进。

这些项目的公共色彩都比较浓，所以很久以前开始就整理了以国家及地方公共团体为中心的法律及财政上的支援措施，即都市再开发法。

大部分的日本再开发项目是作为法定的市街地区的再开发事业来实施的：开始就决定了权利变更的细节、明确确定权利面积与保留面积等，严格地将计划固定下来，这时设计师介入的余地显得非常有限。另一方面，建筑内的入住客户直到最后阶段还在变动的情况较多。

期待できないといわなければならない。

都市の現実を前に

それでは建築家は既存市街地の現実に対して無力なのかといえ、決してそうではない。建築家は建築の設計行為を通してあり得べきこれからの都市を予見させるような空間を作り出すことができる。

具体的には都市内の重要な建物やサイトを保全し、あるいは改造すること、そして一方では都市内の不具合を改善していくことである。今日ではこれらの行為は都市デザインと総称されている。それはまた、言葉の最も広い意味で再開発ということもできる。

つまり、建築家は都市デザインあるいは再開発の視点を持つことによって、関与の対象としての現実の都市と初めてあいまみえることができるのだ。ただし、ことはそう簡単ではない。建築单体と関わる目と都市総体と関わる目とは視点が大きく異なるからである。

土地の特性を最終的な形態にいかにかすかはプロジェクトの成否に関わる。そのためにも建築家の積極的な関与が必要だといえる。また、計画案固めの合意形成の過程で、建築的なヴィジョンが見解のとりまとめの重要な役割を果たす。具体的な事業においては、先行するさまざまな行政手続きにおいて明快な空間イメージを持っていなければ、後の本体事業が逆に制約されることになる。従って早い段階からの建築家の関

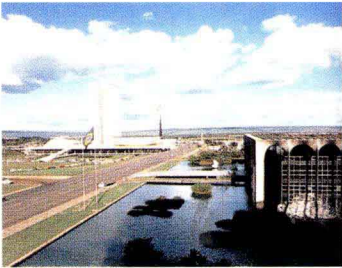
建筑家必须具备能对付这种两极要求的应急的体势与技能。

都市再开发而产生的都市空间

二次大战后欧美的大多数再开发都是改造型都市再开发，贫民区解除型成为超级街区开发的发端，逐渐变为修复型、改善型。与此相比，日本的情况是建设统合小规模基地的巨大商业复合设施。与其相关的站前广场等公共设施的配备整理、巨舰型的再开发是压倒大多数的，有时再加上公共团体的施工项目，形成了大规模面积的再开发状态。

当然无法对欧美及日本作单纯的比较。欧美的多数再开发项目在启动之前就已经将都市的基础设施整理完備。有大量木构造密集地区的日本，都市不燃化的努力是都市再开发的固有使命。巨大的购物中心加上有魅力的广场空间，上层配置有办公及旅馆栋的高层大厦的标准型，从美国到亚洲的各都市，成为了都市商业地域内标准的建筑样式。也就是说，这种空间构成为二十世纪后半期新兴都市共同的发展轨迹与回答。

这与各国的消费文明的方法及都市生活样式紧密相关。都市的新生活样式能否在二十一世纪前半期确立及



4

与は円滑な事業実施のために不可欠なのである。

都市再開発の中で

日本で再開発というと全面クリアランス型の再開発に限られる。日本における都市再開発は主として都市の不燃化、土地利用の高度化、居住環境の整備、そして公共施設整備の推進という四つの目的を持って進められてきた。具体的には、幹線街路や駅前広場の整備と駅前地区の整備を目的とした再開発、商店街の近代化を目的とした再開発、住宅供給並びに居住環境整備を目的とした再開発、公共団体の公益施設整備を目的とした再開発、そしてこれらの複合型などのケースにおいて事業化が進められてきた。

いずれの場合も公共的色彩が強いので、古くから、国や地方公共団体を中心となって法制上財政上の支援措置が整えられていった。それが都市再開発法である

この都市開発法は1969年に、これまでの街区単位の防災建築の推進を目的とした防災建築街区造成法（1961年）と、駅前広場などの公共施設の整備を目的とした市街地改造法（1961年）を統合して生まれた法律であり、日本における都市再開発の動機がよく現れている。

日本の都市再開発プロジェクトの多くは、法定の市街地再開発事業として施行されるため、あらかじめ権利変換が細部にまで詰められ、権利床と保留床とが明

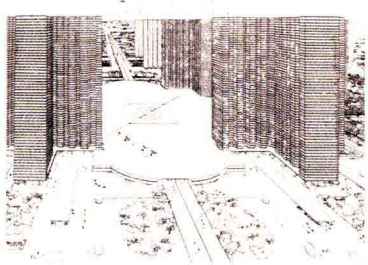
如何将它们反映在都市建筑的样式上，是将项目相对化的关键。

几个再开发事例

以下介绍作为再开发项目先导事务所的RIA的三个事例：首先是东京武藏野市吉祥寺站北口地区。现在这里主要以购物中心为轴展开回游性广阔的面。不单在站前集中设置了几家大型百货店，而且以专卖店街围绕在商业地区的四周围，双方协调良好，成为年轻人聚集的场所。但现在人流济济的吉祥寺站北口地区在1960年是只有一条商业街的相当贫弱的都市基盘。道路由政府以单纯收买方式进行整治，同时根据旧防灾建筑街区造成法指定防灾建筑街区，引入大型百货店等。这样的再开发手法，作为在都市再开发法产生以前的再开发而言，可算是划时代或超时代的。

现在已基本按照当初再开发构想图所描绘的形状完成了周边设施的整治，街景非常的自然，让人们感到自由自在、习惯与融合，已无法想象这是按计划方案图建设而成的。成为了日本极为成功的一个开发事例。

其次是东京的品川区天王洲。原来是仓库为中心的人工岛，根据规划天王洲从准工业地区向CBD及商业地



5

確に確定されるなど、計画は厳格に固められてしまいある時点から設計者の介入の余地は非常に限られたものとなってしまう。他方、新しくなった建物に入居するテナントは最終段階まで変動することが多い。こうした両極の要請に即応できる体勢と技量とを建築家は備えていなければならないのである。

都市再開発が生み出した都市空間

欧米における戦後の改造型都市再開発プロジェクトの多くが、スラム・クリアランス型のスーパーブロック開発に端を発し、次第に修復型・改善型へと移行してきたのに比較して、日本では小規模な敷地を統合して巨大な商業コンプレックスを建設し、あわせて駅前広場などの公共施設を整備する巨艦型の再開発が圧倒的多数で、これに一部公共団体が施工する大規模な面的再開発が加わるという状況である。

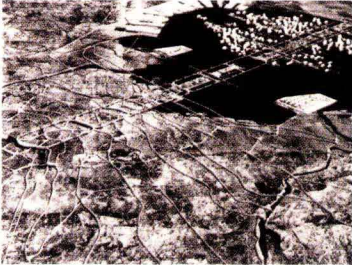
もちろん欧米と日本とを単純に比較することはできない。欧米では再開発プロジェクト以前から都市のインフラは整備済みであることが多いし、なによりも木造密集市街地を有する日本の不燃化への努力は都市再開発に固有の使命を負わせている。

足元に時として魅力的な広場の空間を持つ巨大ショッピングセンター、そしてさらにポテンシャルがある場合には上階にオフィスかホテルを配した高層ビルという標準型は、アメリカの諸都市から東南アジアまで

区进行了地区用途变更。具体措施包括：指定柔软的规定来推行街区的建设；区划道路时尊重各土地所有者的意向；高层栋的配置与空中走廊的位置关联，及由此带来的一至二层建筑物的利用；水边岸线尽量面向公共开放；有意图地配置容易聚集人流的步行道与岸边咖啡吧等。另外，东京轻轨新车站设置费由各开发商全面负担等一系列干劲十足的计划都不依靠政府的任何补助，全靠各个业主的自发联络组织来推进开发。特别值得一提的是，根据天王洲地区再开发的经验，创设了1988年的日本再开发地区计划制度。内容如天王洲那样，开发者与行政当局一边协议开发者预期投资的范围，一边调整计划阶段的都市规划的部分制度，在官民协议作为前提这点上可谓新时代的都市规划。天王洲的尝试产生了超越都市规划的框架来重组的可能性的制度。

最后是金泽。一提起金泽就会让人想起古都的风貌来，同时是加贺友禅、丸谷烧及金箔工艺等传统的小规模都市型制造业坚固的地盘。这金泽也不甘心安居于历史及传统，经常积极地导入新都市的魅力。最大的例子是从香林坊到武藏个迁的金泽站及站的西区规划管理地区。中央通过幅员50米的道路创造出新的都市轴。

金泽的中心商业地区决不输给郊外大型购物中心



6

都市商業地域の標準的な建築パターンとなっている。つまり、こうした空間構成は20世紀後半に新興都市がたどり着いた共通した回答である。それは各国々の消費文明のあり方、都市生活様式と深く結びついている。都市における新しいライフスタイルを21世紀の前半に確立できるかどうか、それを都市建築の様式に反映できるかどうかがこうしたプロジェクトを相対化するための鍵である。

いくつかの再開発事例

再開発プロジェクトの先導的事務所であるRIAの手がけた三つの事例を参考にする。

はじめに東京武蔵野市吉祥寺の駅北口地区。ここは現在では主要なショッピングモールを中心軸とし回遊性が面的に広がり、数多くの大型百貨店が駅前に集中することなく、商業地区の周縁に専門店街を取り囲むように立地し、双方がうまく調和して若者に人気のある盛り場の一つとなっている。

しかし、1960年代には駅から北に延びる商店街しかない貧弱な都市基盤の街だった。道路は市の単純買収方式により整備され、同時に旧防災建築街区造成法による防災建築街区を指定し、大規模百貨店などをここに誘致した。こうした再開発手法は、都市再開発法以前の再開発として時代を先取りしたものである。現在では再開発時に描かれた構想図に近いかたちで周

主要原因是由于再开发使大多数店铺都得以保留在都市中心部，且将都市内部的开发压力向都市轴周边地区集中，起到了防止历史环境大变动的作用。可以说描绘金泽都市再生的构图的规划师们为历史名城成功地附加了新的魅力。

面向今后的都市再开发

列举一下在考虑今后的都市再开发时不可避免的几个问题。

第一、有简单、完整构造的项目权利者们只对自己的商业利益与大型入居客户集中精力，难以为需要对应广泛外部关系的再开发项目确定适当的位置。对于都市战略的重要地点的再开发，缺少都市眼光地进行项目的推进是很危险的。期待建筑家、都市规划家等专家发挥作用改变这种状态。

第二、日本的市街区再开发项目一般的都是机能问题型的，因此为创造更多样丰富的都市空间而无法利用原有的都市积累。保存、修复等课题不能解决的再开发项目，即使是大规模基地群的再开发，从都市整体的视野看，与资源的活性化利用也是相矛盾的。



7

辺整備が完了し、計画的意図があったことなどまったく想像できないくらい街の風景として馴染んでいる。それほど自然で、成功した再開発の事例である。

次に品川区天王洲。もともと倉庫中心の人工島であった天王洲が地区計画を決定し、準工業地域から商業地域へと用途地域を変更してオフィス街へと変貌しつつあるプロジェクトである。区画道路を新設し、それぞれの土地所有者の意向を尊重しつつ、高層棟の配置はスカイウォークの位置、1・2階の建物の利用などに関して緩いルールを作りまちづくりを進める。ウォーターフロントをできるだけ公共に開放し、人が集まりやすいようにボードウォークやカフェなどを意識的に配置しているほか、東京モノレールの新駅を開発者側で全面的に負担するなど意気込みには並々ならぬものがある。この天王洲の再開発の経験により、1988年に再開発地区計画制度が創設されたことは特筆に値する。この内容は天王洲のように、開発者と行政が協議しながら、開発者の負担を予定できる範囲で計画に段階的に織り込みながら都市計画の規制を部分的に見直す制度であり、これは官民の協議を前提としている点で新しい時代の都市計画といえる。この天王洲の試みは、都市計画の枠組みを組み替える可能性のある制度を産み落とした。

最後に金沢。金沢は古都というイメージが強いが、同時に加賀友禅や丸谷焼、金の箔工芸など伝統的な小

第三、法定制度过于强调细部，规划缺少弹性等经常受指责，目前掌握权利分割的是建筑家的工作这一印象是无法消除的。

如果能将决定规划大框架的都市规划与决定细部详细规划的手续双重化，建筑感觉先行于规划就能起到引导项目的作用。

如在伦敦港入口处实现的《里番埠街站的再开发》（1983－1991年）就是以逐步衰退地区的感觉作为文脉，而不只是机能再开发、站舍的保存再生等、实现的空间也不仅是将满足原地方的需要变成具体的形状。从新都市空间与街路空间的设计方法上可看出已开始向超越上述三点问题的方向前进了。

日本的都市再开发超越固有制度界限前进的时间，就是日本的都市空间变得更有意义的时候。

在看建筑到都市的眼和都市到建筑的眼

都市再开发具有挽回都市中心部衰退和郊外化这一世界性趋势的重大使命。重新找回都市中心部热闹的商业活性化及都市中心住宅的推进等都是都市再生的有力而重要的方法。建筑家应如何对待这些呢？

以建筑家的单体建筑为重要原点，要具备从单体建



8

規模都市型製造業の強固な地盤を有している都市である。金沢も歴史や伝統にただ単に安住することなく、常に新しい都市の魅力積極的に導入してきた都市でもある。その最大の例として、香林坊から武蔵ヶ辻を経て金沢駅、さらに駅の西の区画整理地区の中央を走る幅員50mの道路に至る都市軸の創出が挙げられる。金沢の中心商業地区が郊外店に負けることなく元気が良いのは、都市内部の開発圧力を都市軸周辺に集中させ、それ以外の歴史的環境を大きく改変することを防止することにも役立ってきたといえるだろう。金沢の都市再生の構図を描いてきた計画者たちは、歴史都市に新たな魅力を付加することに成功したのである。

これからの都市再開発へ向けて

これからの都市再開発を考える際には避けては通れないいくつかの問題点を列挙してみよう。

第一に、事業は権利者内で完結する構造を有している場合に、権利者は自らのビジネスの可能性とビッグテナント対応のみに神経を集中させ、より広い外部との関係の中で再開発事業を位置づけることになりにくい。都市にとって戦略的に重要な地点の再開発が都市の視点を欠いたまま進められる危険性が高いのであるそれを是正するためにも建築家や都市計画家などの専門家の役割が更に期待される。

第二に、日本の市街地再開発事業がすべてスクラッ

筑看都市の眼，但同时也必须要有从都市看建筑的眼。这是在都市全体考虑中的基地与业主的设计条件逐步形成的。再开发的建筑设计行为是将变化中的都市的社会构造以形态的行为表现，那里有不少人间变幻的剧情。

建筑家能在这样的现场工作，即使献上自己的一生也是非常有意义的。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 列切华斯田园都市 | 5. 巴黎改造案 |
| 2. 阿姆斯特田园郊外住宅 | 6. 东京规划1960 |
| 3. 昌迪加尔 | 7. 柏林改造规划 |
| 4. 巴西利亚 | 8. 东京的品川区天王洲 |



進できるようになったとき、日本の都市空間はもっともっと面白くなるはずである。

建築から都市を見る眼と同時に都市から建築を見る眼を

都市再開発は、都心部の衰退と郊外化という世界的な趨勢に歯止めをかけるという重大な使命を持っている。都心部に賑わいを取り戻すための商業活性化や都心居住の推進など、広くいうと都市再生の有力な手がかりの一つとして重要である。これに対して建築家としては単体の建築にこだわるのは原点として重要であるが、単体の建築の中に都市を見る目を持つべきである。そして同時に、都市の側から建築を見る目を持つ必要があるといえる。都市全体を凝視する中から敷地と設計条件とクライアントが次第に固まってくるということがあり得ることを知らなければならない。再開発における建築設計行為とは、変化しようとしている都市の社会構造にかたちを与える行為である。そしてそこには人間の転変のドラマが数多く込められているのだ。

再開発設計の手法
—— RIA 追求の都市空間

現代都市中の建築、尤其是規模龐大且對周圍產生較大波及與影響的再開發建築給都市規劃及設計帶來了各種新課題。這類建築與單體建築存在很大差異，我們將之稱為“都市市場的建築”。本文我們將對這“都市市場建築”的設計進行論述。

近來，日本經濟的急速增長促使容積率的提高，由此產生的高密度化狀況已遠遠超過了歐洲的街區。具連續性的高密度街區促進更高密度的都市形成的現象正日趨增多。而日本的再開發項目從開始策劃到建設完成是一個長期的過程（短需10至15年，一般為20年），與此相反的是受經濟迅速發展的影響，項目的變更、變化卻非常之頻繁。

在充分利用容積率的同时必須滿足街景的連續性，並且要與內容的變更、變化相呼應，這要求我們採取一種被稱為寬容力或吸收力的、類似解題般的造型手法，也就是說需要一種遠心式的手法。從事這種手法的設計

者經常需要忍受時間及體力素質的考驗，這種近乎嚴酷的工作事例在日本已屢見不鮮。

接下來將介紹相對追求建築單體美的求心手法而言的遠心手法，即我們在都市再開發中必須遵循的建築設計的心得。分為“容積與內容”、“壁面線與境界”及“遠景與近景及入景”三部分來進行詳述。

1、容積與內容的設計

迄今為止，日本的再開發項目均是以土地的高度利用為首要目的，即盡量充分利用容積率，尤其是以商業為主體的建築街區更是如此。因此在各地突然出現了巨大的、被充滿的容器。容器中的內容成為最大的問題，這表現為：土地擁有者、土地租賃者、房屋租賃者們所從事的職業、业态等不同用途需要被原本地保存下來，同時大型店、專門店街、旅館、集會場所等新的內容被配置進來。不僅是這些民間設施、公共設施的導入，並設使複合設施達到了極致。

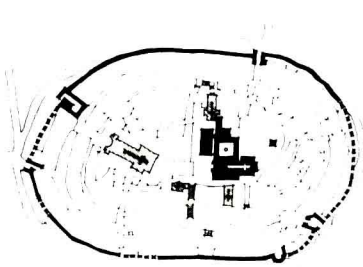
規劃構成一方面要考慮權利關係、用途關係、業種业态等的關係，同時又必須將容器的容量用足來進行前後左右縱橫的空間分割，這不僅是一項大作業，而且是與容器的表情即容器的設計密切相關的大作業。這項分割作業要一直進行到建築的最終完成，由此常會引起外

部表情的變化，設計者要有求大同存小異的思想準備，但又決不能因此而輕視設計中的細節。可要把握好這方面也是相當不容易的事情。這時有兩種對應手法：一是不管內容如何不同、情況如何特殊，為使外觀完全不受影響，必須以統一的手法徹底地進行整體外觀處理。無論前提條件怎樣變化都決不能將對內容的特性表露在外表。與此手法相對的是，將大部分的內容用幾個框架來控制整理統合，巧妙地進行構成的方法。一般而言，在遇到大規模平面的重層大容積、多機能多用途混合的建築時，如設計許可的情況下，全面採用內容與外觀相斷絕的方法是比較容易解決問題的。

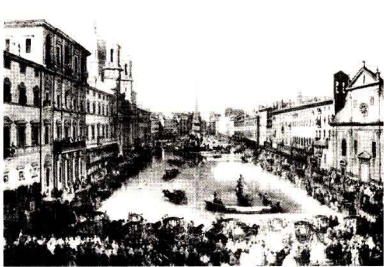
由於最近消費結構的變革使商業业态發生了變化，在都市中心部集中設置大規模店的狀況有所減少，而住宅及都市型社區旅館、各種公共設施等逐步增加；另一方面，投機性計劃的減少使得根據實際需要而建造的、低容積的自立型再開發卻有所增加；根據這些條件適當地配置高、中、低層建築，包括空地的構成事例也在逐漸增多，這要求設計者有相當高的構成實力，即要能根據規劃條件進行柔軟的機能間組合，同時可通過機能的相关關聯結合的構成功力。此時，與臨近街區的關係、與街景連續問題的共存等必須進行廣範圍的審核。



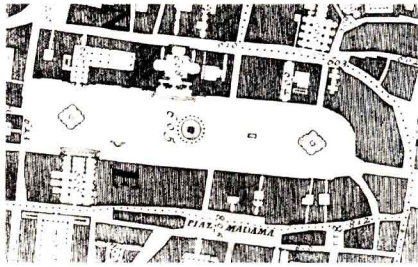
1



2



3



4

再開発デザイン手法
—— RIAが求める都市空間

まちの中の建築、とりわけ規模の大きい、しかも周囲に新しい波及効果をもたらす再開発の建築には、新しいさまざまな計画、設計上の課題が与えられている。単体の建築とは違った、これはいわば、まち場の建築とも称されるもののデザインについて語ろう。

単体の建築と、特に再開発のまち場の建築では、その立脚点に大きな異なりがある。その原点として「まちは絶えず動いている」ことがあり、そこで生きる人、利用する人、ただ通りすぎる人、それらさまざまな人々が24時間、そして1年を通じて、それこそ動いていることであり、しかも時々刻々、まちを形成する道具立てとしての建築、装飾、看板が変わりつづけていることを含めて考えている。そして一方、「まちは絶えず連続している」という物理的な普遍性が厳然としてある。元々日本のまちには、街区とか壁面といったヨーロッパの都市概念がなかったが、沿道を挟んでの宿場町や門前市という連続性は古くから見られる。最近では、急激な需要による容積の増加によってヨーロッパ以上の街区単位の高密度化のみならず、高密度街区の連結によって、より一層の高密度都市の形成が多く見られる。

そして、おまけに今までの日本の再開発事業の発端から完成までの長期化（短くて10年、15年、20年はざらという現況）を要する状況の中で、これとは逆に日本経済の目まぐるしい変貌に揺き回されて、その事業の内容の変更・変化はまことにすさまじい。

容量は目いっぱい、しかもまちなみは連続という条件の中で、内容の変更・変化に呼応するという、もともと破綻のあるクイズを解くに似た造形の手法は、許容力のあるというか、吸収力のあるというか、いわば遠心的な手法が必要であり、その手法を携えた設計者は、さらに肉体的にも時間の経緯に耐える資質を求められる過酷な例も少なくない。

それでは、都市再開発に必要な建築デザインの心得を、「容量と内容」「壁面線と境界」「遠景と近景と入景」といった三項目に分けて詳述しよう。

1. 容積と内容、そのデザイン

今までのわが国の再開発は、土地の高度利用が第一であり、目一杯の容積を使い、巨大な容器が忽然と出現する。地主、借地人、借家人の用途や業種、業態はそのまま継続され、しかも新たなテナントとして大型店、専門店街が入るばかりか、さまざまな業務やホテル、集会場なども併設され、民間ばかりでなく、公共的な施設も導入されるなど、複合施設の極みである。

プランニングはこれら権利関係、用途関係、業種・

業態関係などを考慮し、前後左右縦横に仕分けながら容器一杯を使ってゾーニングする。この大作業が、建築のデザインに深く関わるのである。しかもこの仕分け作業は、建物の完成間際まで続き、それが外部デザインの変更に及ぶこともしばしばである。

かといってデザインなるものはきめの細かい部分がないがしろにしては成立しないものだからまた難しい。この場合二つの手法がある。一つは内容がいかに違い、いかに変わろうとも、外皮はまったく変わらなくするために、徹底的に統一したデザイン手法を用いる。この場合、内容は我慢してもらう必要があり、少しでも内容のいくつかがアイデンティティを外に現そうとする場合は、この手法が効かなくなる。それに対応するのがもう一つの手法で、大部分を整理統合しながら、それぞれの個性的表現をいくつかの枠組みに抑え、それらを巧みに構成する方法である。いずれも大規模平面的重層形大容積の場合で、多用途が混在するケースでは、全面的、もしくはデザイン上構成可能な範囲で、内容と外皮を断絶する考えが基本的に解決しやすい。

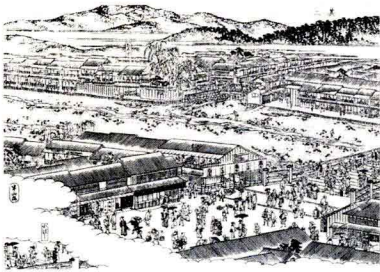
一方、特に最近の消費構造の変革による商業の業態変化により、大規模店が都心に集中することが減り、住宅や都市型コミュニティホテルや、公共の各種施設などで構成される場合も多くなり、また一方で、投機的な計画も減って実際に使える容積にとどめる低容積の自立型再開発も増えてきた。これによって高・中・

特别是作为都市中心部再开发的最重要的要素，项目容积与内容欲达到最终良好的关系都必须经过几个过程，想在最初规划时准确地留下适度的可调整空间是困难的事情。能承受并可良好对应的设计师可说是再开发设计这专业真正的专家。

2、壁线与境界的设计

日本の都市没有（城）墙，而欧洲的都市都是由城墙围合而成，支撑这一概念依靠的是墙面线的认知。日本的情况则如同修正齐整的块状农地，在四角形的土地上按照各自的意图建立自己家园。民法里的“必须退后界线30公分建房”即为对欧洲式的墙面线否定的象征。欧洲的建筑尽管内部分割是自由的，但其沿街区的墙面却属都市的共有物。这一根本的不同使得日本无法建成类似欧洲式的都市街景。虽然没有欧洲那样严格的街区墙面线，日本都市还是需要柔软的墙面线的。如土地分割线一般，表示建到此处可以的意义上的墙面线。实际上，日本的综合开发制度、地区计划线制度、都市意识的导入制度，就是这种意义上的墙面线。它给予一定程度的制约及秩序而相应缓和其他的（如高度、容积等）限制条件。

原本应给设计带来更多自由度的墙面线的设定，可



5

低層を適当に配置する、空地を含めて空間を構成するケースも増えてきた。これらはまさに設計者の構成に対する力量も十分必要で、計画の与条件の読み取りと共に、柔軟な機能の組み合わせ、また機能の相関的な関係を通しての取り扱いなどを伴った構成力を要求される。そして近隣街区との関係、まちなみとの共存など、かなり広い範囲を通してチェックされなければならない。特に都心部の再開発は、事業上からも容積と内容が最も重要な要素であり、幾多の過程を経て、そのデザインの落ち着きどころをあらかじめ計算し尽くすことは困難である。しかし与条件が変わるたびにデザイン手法までが振り回されるのは忍びない。そこが日利き、手慣れの世界に入るとも思われる部分である。こうした事業の時々刻々と変動する状況に連動して、適切に対処しながら問題点を解決し、次第に最終的なデザインへとかたちづくる手法を駆使できる者こそが、この分野での真のプロと呼べるのである。

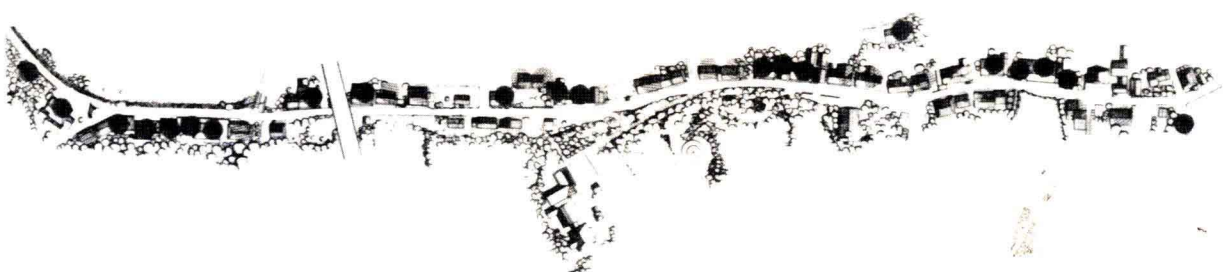
2. 壁面線と境界、そのデザイン

日本の都市には壁がない。ヨーロッパの都市は壁によって作られ、それを支えているのは壁面線の認識である。我が国では耕地整理された田畑と同じに、区画整理された四角い土地に思い思いに人は家进行る。民法上の「境界線30cm後退して建てよ」ということは、ヨーロッパ流壁面線否定の象徴と思う。向こう

能会因前期规划考虑不周，在后期实施阶段时反而成为设计的绊脚石，束缚了设计的情况也时常发生。商魂的驱使使得墙面线被内容所添满，为了给设计以充分发挥的富余空间，因此在最初计划进行的阶段就要预先考虑十分的余地，即留有创造凹凸空间阴影及装饰、标志、照明、广告等与建筑一体化的建筑装置的余地。对墙面线规划的关注，将引导都市再开发的开发商走向成功。

日本人的空间观中虽没有欧洲人对墙面线的认识，但日本人有表示境界线领域的一种独特的抽象认识。通融无阻的日本空间甚至可由一根分割线而诞生一个新的空间——“注连绳引”简单地围绕产生的圣域即为最典型的实例。古代日本的神社的鸟居及门、细细的水路、黑色的板屏等都是用来创造各种境界领域的道具。当今的都市再开发过程中，重新对过去的建筑文化进行新的评价是非常重要而有益的事情。

我们必须对同一街区内的既存建筑或将来要建的建筑，以及与相邻街区的建筑群的境界领域协同考虑，使街景的共同感得到连续，同时又给予街景丰富的气氛变化。设计上必要的标志、照明、造园、屋外家具等室外空间道具，以及建筑的凹凸轮廓、大玻璃空间、多层次共享空间等内部大空间都需要与广范围的设计师们共同



6

では、中身は自由だが街区に沿った壁面は都市の共有物なのだ。この根本的な違いから、この国にはとうていヨーロッパと同じまちなみは作れないと考えたほうがよい。

しかし、ヨーロッパ流の厳格な壁面線であっても、日本のまちづくりにはソフトな壁面線は必要である。ちょうど地縄張りのように、ここまでは建ててよいという意味での壁面線である。そうして実際、総合設計制度や地区計画制度のように、まちという意識を導入した制度には、こんな意味の壁面線があり、ある程度のやさしい制約や秩序を与えようとしている。再開発でも、高度利用地区や再開発地区計画の制度をかけて制約を与えると共に、他の制限（例えば高度や容積など）の緩和を行っている。

ところが、よしと思われる壁面線の指定が、その計画が十分に練られないままにおざなりに決定され、後の実際の事業に入る段階になってデザインの足枷になる場合が多い。もっとデザインにとって自由度の高いはずのものが、逆にこの制約に縛られて、商魂たくましい内容に寄り切られて容積いっぱいを要求され、すべて外壁は壁面線と同一にせざるを得ない場合である。あらかじめデザインし得る幅を計算して壁面線を計画し、都市計画決定に持ち込むべきだ。凹凸による陰りなどを作る余裕、庇やバルコニーなどのデザイン要素の余裕、装飾、サイン、照明、看板などを建築と一体

协作。从这个角度出发，在都市中从事再开发事业的建筑师必须从整体规划的设计立场出发，发挥对共同参与项目的设计师、制作者们的调整能力。但实际情况是项目进行到一半才开始进行共同作业，而设计未结束工期又已结束的情况常有发生。所以，必须在较早阶段时就说服业主起用共同设计者，以最终达到理想的结果。

3、远景与近景及入景的设计

本文的前两个部分介绍的是如何认知都市再开发设计中技术上的特殊条件要求，以及沿着这条线索操作的方法。这部分讲的是检验设计的一个方法，即以移动的视线看新建的城市。

对一般人而言，观察建筑群是从都市的外部开始，然后逐步接近看见街景，更近时可看清楚景色中的演奏者，即都市中的生活者、利用者、通行者，这如同以变焦镜观察丰富的舞台装置般步移景异的乐趣是只有“都市市场的建筑”才有的。

远景：再开发时经常遇到的超高层建筑是中小都市唯一的标志性建筑，与大城市中的高层群中的建筑不同之处在于：它是地方核心都市特定地域的象征性存在，是地域文化特性的主张。对这个都市而言，决定都市轮廓线的建筑必须经常给人以强烈的印象。尽管清晨、中

化させるための余裕など、いかにデザインに豊かさを与えるかを最初の計画を進める段階から計算しチェックする必要があり、それに沿って事業者をうまく誘導することが必要だ。再開発デザインの落とし穴の一つに、この壁面線があることにご注意を願いたい。

ヨーロッパの壁面線の認識は日本人の空間観にはないが、逆に我々には境界線、それが示す領域には独特の抽象的認識がある。融通無碍の多い日本の空間は、線で仕切るにより新しい領域が生まれる。典型的なのが、注連縄引き巡らせば簡単に聖域が生まれる例である。昔から日本のまちには、社寺の鳥居や門、細い水路、黒い板堀りなどいろいろな境界領域を作る道具立てがあった。今日の再開発でも、これらを新しく見直すことが大切だ。

同一街区内の既存建築、もしくは近い将来に建てられる建築、さらに隣接街区の建築群との境界領域に対する配置が、そのまちなみをより統一された連続性のある、また一方変化を与えて気分を変えることとなる。

再開発に携わる建築設計者は、計画全般から生まれたデザイン上の主張に立って、共同デザイナーや製作者に対する調整能力を発揮しなければならない。しかも事業の終わりのころ、さらには建築工事も半ば過ぎてから作業が始まり、デザインが熟れないうちに時間切れとなるケースが多い。早いうちから事業者にデザインの共同者の起用を説得をしなければ、よい質を生む

午、夕陽、夜晚以及气候季节为其带来了丰富的表情变化，但它存在的象征意义是永恒的。

近景：由超高层、高层建筑向近景的推进，本来不太引人注意的中层建筑的体量、墙面尺度等逐步成为观察的重点，同时与周围街区的关系、都市街景的连续、融合、诱导、冲击、对立等项目都不可忽视。再接近一点，对优劣的检验便集中于连接街区与街区之间的空中步廊、半室内商店街、大玻璃商业空间等的形态及是否与其各自的机能相符。更接近目标时，由于可视范围变狭，沿街低层商店的门面及大楼的出入口开始成为注意的焦点，此时，是否能给人以舒服的愉悦感、需借助于所谓皮肤的感觉来进行接触性的观察。步道的触觉、半室内商店街的高度、光亮度、遮阳板、橱窗、广告牌、标志等的组合关系、夜间的照明、霓虹灯的使用状况等能为连续的街景带来一些变化，而这些问题即使是一般的人也很容易注意到。

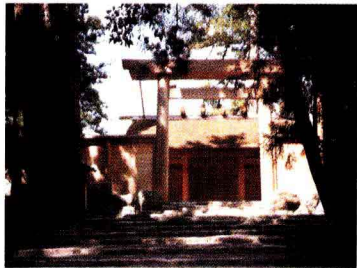
首先“入景”意味着比近景更近、与景色相近、进入景色当中、使自己成为景色中的一部分的含义。不知不觉中自己已融入景色里，并成为景色中的演出者：卷入繁杂的多层公共空间中、或加入广场上的节目中、或出席在旅馆举行的结婚宴、或打开各自的门扉与家人进

行欢快的晚宴，想象这一幅幅美妙的光景时正可谓“入景”。正是这些人们行动的片断，善良感、温柔感及亲切感的想象成为我们设计不可或缺的源泉。

随着时间的流逝，形形色色的人们的自由自在的行动的集积必将在容器内部诞生新的社区，它面向容器的外侧成为都市的形状矗立起来。对设计者而言，要达成控制好这容器的容量的设计是近乎不可能的事情，但广义上这个容器坐落的方式及使用方法却可通过设计来控制。因此拥有控制它的方法的技术，就是都市场的建筑设计最高境界。



7



8

1. 欧洲的中世纪都市 5. 鸭川・祇园（江戸时代）
2. 欧洲的中世纪都市 6. 京都・鸟居本
3. 拿破拿广场 7. 祇园新桥
4. 拿破拿广场 8. 伊势神宫（鸟居）

結果とはならないのである。

3. 遠景と近景と入景、そのデザイン

まず、「入景」という、私の新造語の解説。近景よりぐっと近づき、景色に接し、ついには景色の中に入り、自らもその景色の一部となるの意。まちの中の建築群は、一般の人々にとっては、そのまちの外側から、あるいは他のまちからの遠くの眺めに始まって、次第に近づいてまちなみが見え、さらに近づいてそのまちの生活者、利用者、通行人としてその中に入り込んで景色の中の演者ともなるという、ズーム性に富んだ舞台装置なのだ。

遠景として、超高層建築は中小都市にとって唯一のランドマークとしての存在であり、地方中核都市にあってはその地域を特定するシンボリックな存在であり、超高層の林立する大都市にあっては、ひとときアイデンティティを主張する存在である。特にそのまちにとって、常に人々に印象づけられているシルエットでなければならない、朝、日中、夕、夜の時間、さらには気候や季節によってその表情は変わるであろうが、そのシルエットは普遍のものだ。

近景では、超高層、高層は、それほど気にならずに中層のボリュームや大きく長い壁面などが重点になる。当然、周囲の街区との関わり合い方が気になる部分で、まちなみとしての連続、融和、誘導、変化、衝撃、対

立といった項目でチェックされる。さらに近づくとも街区と街区をつなぐペDESTリアンデッキなどの空中歩廊、アーケードやガレリアなどの装置の形状が気になり、それぞれの機能に合った誘導がチェックされる。さらにもっと近づくと、目線の上下の幅は狭くなり、街路に沿った低層のストアフロントやビルの出入り口などが気になり始め、いかに自分にとって快く、かつ楽しめるかの、いわば皮膚感覚に近いチェックが行われている。歩行の心地よさ、アーケードの高さや明るさ、シェード、ショーウインドウ、看板、サインなどの組み合わせ、夜間の照明、ネオンサインの具合などの取り扱いと共に連続したまちの中のちょっとした変化をもたらず気遣いなどが、普通の人によってもたやすくチェックされる。

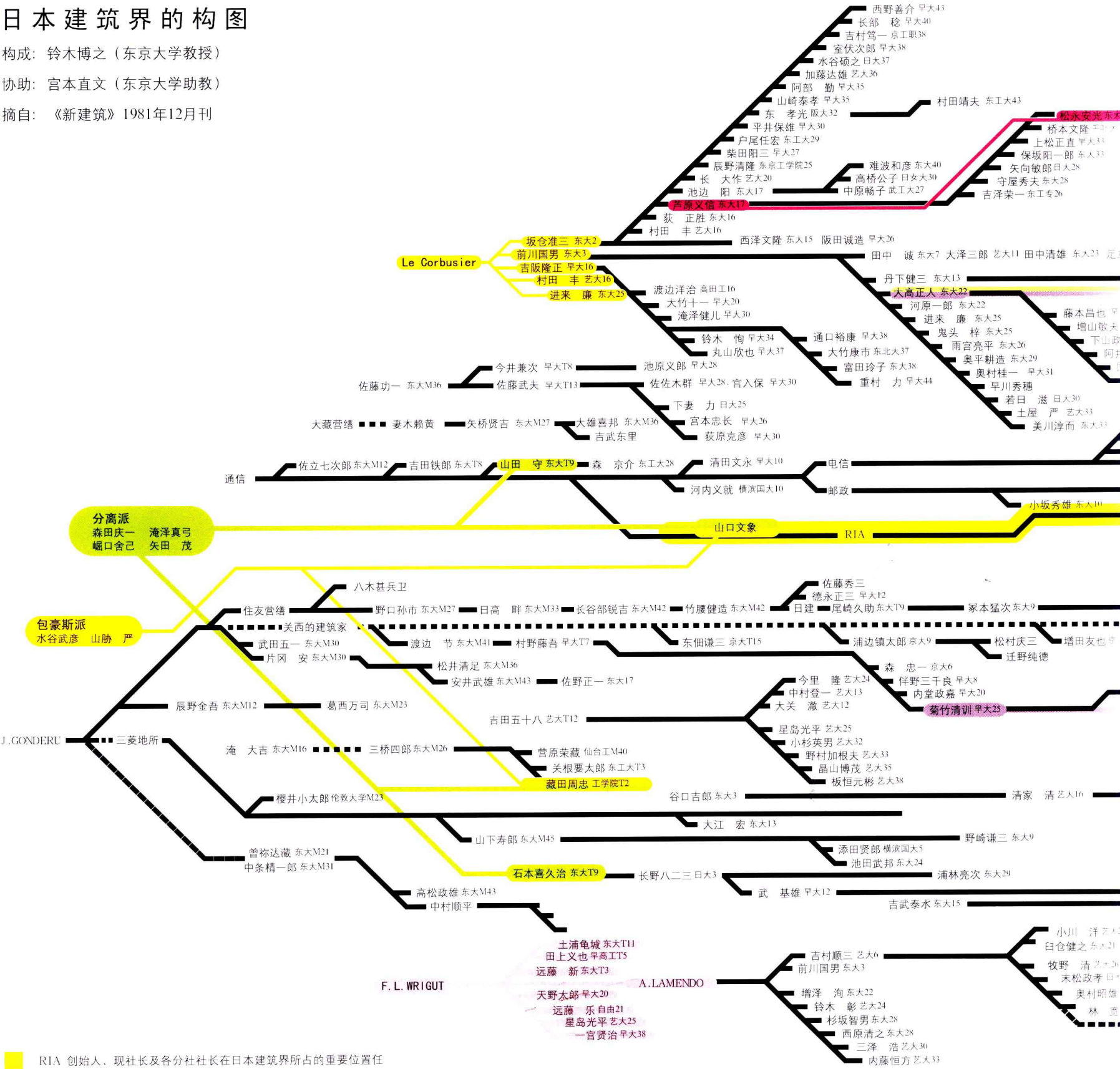
先に述べた「容量と内容」「壁面線と境界」の二項は、再開発における設計上の特殊な与条件をデザイン上いかに認識し、それに沿っていかに取り扱うかの方法である。最後の「遠景と近景と入景」では新しく作られるまちがいかに見えるかという、デザインのチェック項目について触れた。まちづくりにおいて建築のキャパシティを設計者がコントロールすることは不可能に近いが、少なくとも使われ方については、デザインによってコントロールできるのだ。計画設計を進めていく際の、このコントロール術こそが、まち場の建築デザインの極意である。

日本建筑界的构图

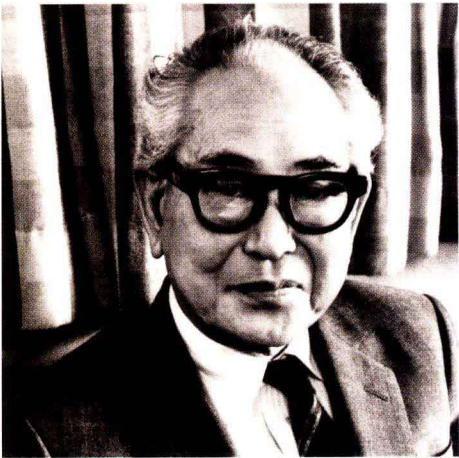
构成：铃木博之（东京大学教授）

协助：宫本直文（东京大学助教）

摘自：《新建筑》1981年12月刊



RIA 创始人

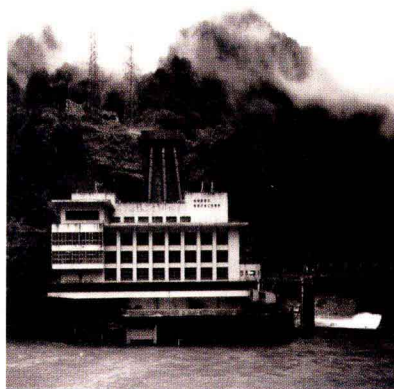


山口文象

- 1902 出生于日本东京
- 1918 东京高等工业学校木工科木工分科毕业
- 1923 创立创宇社,成为日本近代建筑运动的中心
- 1930 柏林大学留学,同时师从包豪斯校长格罗庇乌斯
- 1933 创立山口文象建筑事务所
- 1953 变更为RIA建筑综合研究所
- 1962 东京工业大学教授
- 1978 去世

- 受赏 东京银座商店街复兴设计竞赛第一名
东京最高法院设计竞赛入选

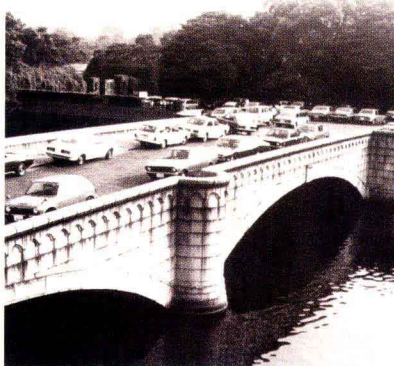
- 表彰 日本天皇黄绶褒章



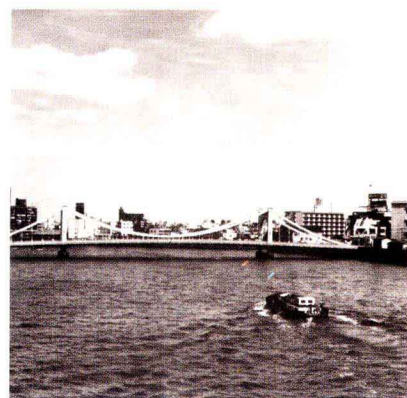
1



2



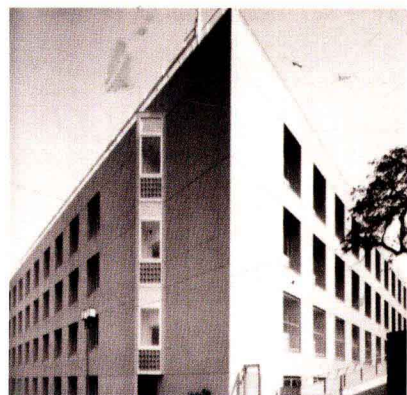
3



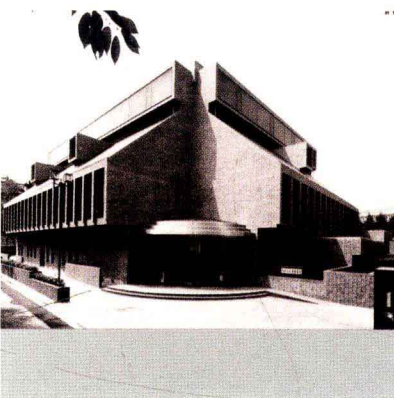
4



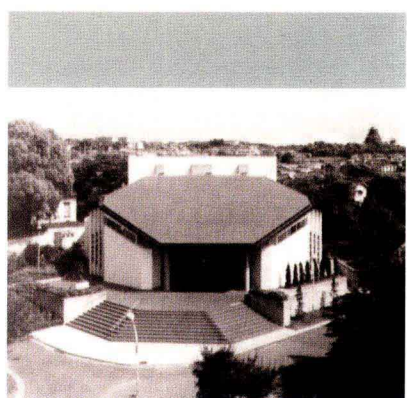
5



6



7



8

1. 黑部川第二水利发电厂
2. 山手教会
3. 离宫南门桥
4. 清州桥
5. 神奈川大学9号馆
6. 神奈川大学17号馆
7. 神奈川大学图书馆
8. 京都教育大学